



■ 佐伯区・西区合同地域保健対策協議会 シンポジウムについて

町田仁史
佐伯区医師会副会長
(町田内科・神経内科
クリニック院長)

平成12(2000)年4月、介護保険制度が施行され7年が経過しました。昨年4月には、介護予防を重視した新しいシステムがスタートし、予防プランやリハビリによる要介護状態の軽減、悪化防止を目的とした『新予防給付』も開始されました。

そのような状況の中、佐伯区および西区地域保健対策協議会は早い時期から、地域のいわゆる保健・医療・福祉従事者と行政が連携して介護保険制度を推進する必要があると考え、合同シンポジウムを開催してきました。



- 日時:平成19年2月22日(木) 19時～
- 場所:広島サンプラザ2階「銀河の間」
- 司会:久保田茂夫先生(西区医師会理事)
- 座長:町田仁史先生(佐伯区医師会副会長)
- 内容:

《報告》

「地域包括支援センターの現況について」
広島市佐伯区厚生部健康長寿課高齢福祉係専門員
牛島伊都子氏

《講演》

I「今話題の院内感染 ～臨床検査技師からの視点～」
広島市医師会臨床検査センター 榎本健(検査技師)

【目次】

1. MRSA・MDRP(多剤耐性緑膿菌)
 - ①どうして抗生物質が効かないの？
 - ②感染した患者様にどのように対応しますか？
2. ノロウイルス
 - ①ノロウイルスってどのようなウイルス？
 - ②大流行する理由は？
3. 鳥インフルエンザ
 - ①鳥インフルエンザが騒がれる理由は？

II「地域包括支援センターの課題」
広島市西区医師会理事/梶川病院医師
落久保裕之先生

参加者:総数66人(内訳:ドクター22人、コメディカル44人)

■ 広島市医師会臨床検査センターに講演要請



平成12年の介護保険制度発足以後、年1回それに関連したシンポジウムを西区および佐伯区医師会、行政と合同で2月に開催しております。

平成18年度の開催にあたり、理事会で協議・検討する中で、昨年流行したノロウイルスの話題が持ち上がりました。広島市医師会臨床検査センターは「出前勉強会」で、ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症やアレルギー検査などの勉強会を行っておられますので、佐伯区担当の三宅さんに講演の依頼をしましたところ快諾を得ました。

開催当日までに打ち合わせのため何度も当院に足を運んでいただき、我々が求めている「感染管理」について検査技師の視点から「今話題の院内感染」という演題で講演をしていただくことに決定し、非常に楽しみにしておりました。

枡本さんの講演内容は現場サイドに立ったもので、細菌やウイルスについての知識から感染管理の基本である手洗いやノロウイルスの消毒方法などについてわかりやすく説明され、また鳥インフルエンザについてもお話をされ、タイムリーな話題を提供して下さいました。非常に満足できる講演をしていただき誠に有難うございました。



■ 今回のシンポジウム開催について

久保田茂夫
西区医師会理事
(久保田内科クリニック院長)

佐伯区、西区医師会の交流と親睦を深める目的で、医療と介護および福祉の連携を強化すべく地対協シンポジウムが始まってすでに5年となります。今回は、平成18年4月に設置された地域包括支援センターについての講演とともに、広島市医師会臨床検査センターから医師会会員およびコメディカルの方々にとって大変興味あるタイムリーな演題で約30分に渡りお話をいただきました。

先日、市中肺炎として初めて死亡例が報告されたMRSA、MDRPについてその歴史、耐性機序、感染に対する対応、次にノロウイルスについてはその実態と感染経路および感染成立に差があるという興味ある報告を、最後に世界中で非常に恐れられている死亡率の極めて高い高病原性鳥インフルエンザの実体とその危険性について大変わかりやすくスライド34枚を使って説明され、我々出席者66名は日勤の疲れにもかかわらず一睡



もせず最後まで真剣に講演に聞き入り、内容の評価は上々でした。今回初めてこのシンポジウムに臨床検査センターから演題を出していただくことになり、20日前に佐伯区、西区の担当者と打合せ会を開きました。平成17年から臨床検査センターは出前勉強会という会員サービスを90回近くも行って、今回の講演以外にも多くのコンテンツを提供され、会員の好評を得ているそうです。またそういう事実を今回初めて知ったという会員もいました。

今回のような出前勉強会のコンテンツの拡大、充実も重要なこととは思いますが、大小問わず各区の講演会、勉強会へ参加し、会員に臨床検査センターの出前勉強会の存在を認識していただき、今後とも会員へのサービスに努めていただきたいと思います。



□ 講演をさせていただいて

臨床検査技師 柘本健
広島市医師会臨床検査センター
細菌・尿・一般検査部門

この度、平成18年度佐伯区・西区合同地域保健対策協議会シンポジウムで講演する機会を与えていただき感謝致します。自分自身も大変良い経験、勉強になったと実感しています。また、このシンポジウムの座長を務められた町田先生には講演の内容など打ち合わせ段階からいろいろと大変お世話になり、改めてお礼申し上げます。

シンポジウムの感想と致しましては、会場の雰囲気はとても良く、参加者の皆様が真剣に耳を傾けていただいたことが十分伝わってきたので、非常に話しやすかったですし、終了時にはたくさんの拍手をいただき大変嬉しく思いました。私からお話させていただいた「院内感染、感染症」は、やや専門的な内容でしたが、会場の雰囲気からよく理解していただけたものと深く感謝しております。



私の講演の最後に、座長の町田先生から医師会検査センターの“出前勉強会”のPRをしていただきました。“出前勉強会”とは、今回のような講演（※勉強会内容は病医院様のリクエストに応じます）を直接病医院様のところに向いて行うもので、これを通して私どもは先生方の望んでいらっしゃることや現場の生のご意見を直接お聞きすることができます。

こういった活動を通じ、臨床検査のみならず“出前勉強会”の充実を図るなど会員サービスの向上に努めていこうと考えております。

最後になりましたが、今後このシンポジウムがますます発展することをお祈り申し上げます。この度は誠にありがとうございました。